

WESTUNION

第311号

2017年8月7日

J R 西労組 よなご



西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 廣澤 寿志
編集責任者 松原 啓



意見交換会では主に【伯備線の高速化事業への働きかけ】【米子駅南北一体化事業】の2点について意見交換を行った。

伯備線の高速化事業については、「米子地方本部として伯備線及び因美線の線形改良など、基盤強化を含めた高

速化への整備事業に対して、国を中心としたプロジェクトとして実施するよう県からの強い働きかけ」を要望。県は「山陰新幹線について自治体等の強い要望もあるため、県としては歩調を合わせ必要がある」とはしながらも、「必要性は認識している」との見解を示しており、引き続き、さらなる協力・連携を要請した。

米子駅南北一体化事業については、「事業の推進にあたり、駅を中心とした街づくりのため、公共施設設置の特定の配慮」を要請。県も「新米子市長も事業の推進を図っていく考えであり、県も市と協力していく」としている

と同時に「当事業は今後の地方の鉄道のあり方など、地域活性化の可能性を拓けていくものであるため、JRに期待している」とも話しているため、当事業に限らず、「鉄道の特性を活かした交通政策実現」に向け、今後も自治

体訪問活動を積極的に実施していく。

2017年度自治体訪問活動

米子地方本部は6月1日(木)、「鉄道の特性を活かした交通政策」実現に向けて鳥取県庁への自治体訪問を実施。平井鳥取県知事をはじめ、各関係担当課の方々と「伯備線高速化」「米子駅南北一体化事業」等に関して意見交換を行った。

鉄道の特性を活かした交通政策実現に向けて

働きやすい職場を求めてー

女性組合員意見交換会

米子地方本部は去る6月1日、同月25、26日、7月8日の4日間、井原男女平等参画部長、上倉男女平等参画次長を中心に鳥取・米子・出雲・石見各支部の女性組合員と意見交換会を実施し、業

務課題をはじめ、設備面等での業務している女性組合員の意見をはじめ、産休・育休を経験された組合員の意見もあり、幅広い意見を集約することができた。今後はこの意見(実態)を整理し、会社と協議を行っていく考えである。



主な意見 (一部抜粋)

- 【設備等】
 - ・出雲市駅の女性乗泊が足りなくなるのではないかと
 - ・お客様救護室が汚い
 - ・米子駅、支社のトイレが少ない
 - ・駅に保育所を作ってほしい
- 【貸与品等】
 - ・女性乗務員に防犯ブザーが貸与されているが、一人乗務の時など意味がない
- 【制服】
 - ・スカートも作ってほしい
- 【業務等】
 - ・キャリアアップの過程で車掌⇒間接のルートを作ってほしい
 - ・ワークシェア勤務が導入されたが取りにくい
 - ・業研の発表など、発表だけで周知などフィードバックがない
 - ・イベントはたいがい女性が出さされる
 - ・イベントの計画、実行を一般職が行っていて大変
 - ・見習いが終わった直後に先生になるなど育成システムを変えてほしい
 - ・女性がいる職場は、安衛のメンバーに女性をいれてほしい



第二十七回米子地方本部定期大会

【日時】平成二十九年八月二十六日(土) 十時三十分

【場所】米子コンベンションセンター 国際会議室

「次代への継承」に向け、有意義な大会となるよう

ご協力をお願いします